

アドミッションセンター報告書（第14号）の刊行にあたって

アドミッションセンター長 西郡 大

アドミッションセンターの活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。アドミッションセンターは、入学者選抜の企画・広報・実施等の業務を行い、佐賀大学の教育研究の充実発展に寄与することを目的として、2007年10月に発足しました。発足から15年がたち、皆様のご支援により活動が実績に結びついてまいりました。

高大接続改革の1つの柱である佐賀大学版C B Tでは、タイプⅠの「基礎学力・学習力テスト」を理工学部、農学部、経済学部の学校推薦型選抜Ⅰ、タイプⅡの「思考力・判断力等を問うテスト」を理工学部（化学分野）、農学部（国際・地域マネジメントコース）の総合型選抜Ⅰ、タイプⅢの「英語技能テスト」を教育学部（英語分野）の総合型選抜Ⅰで実施しました。これに加えて、芸術地域デザイン学部と医学部の編入学試験でも実施し、全学部でC B Tを実施することができました。

また、特色加点制度は2021年度入試より医学部を除くすべての学部の一般選抜で導入できたことにより、「多面的・総合的に評価する新しい評価・判定方法を全学部を導入する」という第3期中期計画を達成することができました。インターネット出願と連動した書類審査の仕組み（J-Bridge System）は、大学入試のDXとも呼べるもので、一般選抜における効率的な書類審査を実現しています。

加えて、継続・育成型高大連携カリキュラムは、「教師へのとびら」「科学へのとびら」「医療人へのとびら」「社会へのとびら」「アートへのとびら」が全6学部で開講され、全国的に先駆的な高大接続プログラムとなっています。

これらの取り組みは、国立大学法人の第3期中期目標・計画の評価において、優れた取り組みとして評価されました。そして、2022年度から始まる第4期中期目標・計画においてもこれらの取り組みの継続と、発展的な展開が期待されています。

2022年度は、新型コロナウイルスの影響を受けつつも、参加者を制限したオープンキャンパスの実施や対面型の広報活動を行うことができ、少しずつポストコロナとしての活動へ向かいつつあります。また、特任講師による高校訪問活動によって得られた情報からは高等学校の現状も確認することができます。ぜひ、高校訪問の報告部分をご覧ください。

入試制度、追跡調査、入試広報、高大連携活動などについて改革や改善を進める際に、本センターまでご相談ください。令和5年度も皆様には、一層のご支援、ご助言を頂きますようお願い致します。

令和5年3月

目 次

| | |
|---------------------------------|-----|
| 1. 令和4年度一般入試志願者動向に関する分析 | 1 |
| 2. 令和4年度一般入試データの検証（合否入替り率と共分散比） | 7 |
| 3. 平成30年度入学者の追跡調査 | 38 |
| 4. 令和4年度オープンキャンパス報告書 | 48 |
| 5. 令和4年度ジョイントセミナー参加者アンケート分析結果 | 75 |
| 6. 令和4年度学部新入生アンケート調査分析結果 | 99 |
| 7. 令和4年度高校教員対象の入試説明会実績 | 131 |
| 8. 令和4年度高校訪問報告書 | 137 |
| 9. 受験生応援サイトアクセスレポート | 161 |
| 10. 特別選抜の志願者動向に関する分析 | 200 |
| 11. 入学前教育に関する調査 | 206 |
| 12. 大学入試研究ジャーナル掲載論文 | 236 |
| 13. アドミッションセンター専任教員活動実績 | 244 |
| 14. 令和4年度アドミッションセンター業務実績 | 257 |
| 15. 令和3年度自己点検・評価書 | 272 |